

平成21年度事業報告

財団法人 びわ湖ホール

1 事業概要

県民に多彩な舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、音楽、歌劇、演劇、舞踊、古典芸能等の公演や、リハーサル見学会、学校との連携事業、地域協働公演など舞台芸術の普及活動を実施するとともに、専属声楽アンサンブルの演奏活動を行った。また、広報営業活動や友の会運営を通じて観客の拡大に努めるとともに、ホール、練習室等の貸館業務および施設の管理運営等を行った。

2 事業実績

(1) 自主事業

ア 平成21年度自主事業

滋賀の魅力を生かして国内外に発信するとともに、世代を超えて誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来館されるホールを目指し、特色ある施設機能を生かして、国内外の劇場との共同制作によるプロデュースオペラをはじめ、オペラ、コンサート、バレエ、ダンス、演劇、古典芸能等の多彩なジャンルで国内外の優れた公演を開催した。

びわ湖ホールがより身近なホールとして親しまれるよう、前年度に引き続きロビーコンサートを毎月実施したほか、自主制作オペラの開催に併せてリハーサル見学会を実施したところ、多数の来場があった。

また、「青少年オペラ劇場」のほか、普段見ることが出来ないホールの舞台裏を探検する「劇場探検ツアー」や、小学校との連携事業等を実施し、次代を担う青少年が音楽や舞台芸術に触れる機会の提供に努めるとともに、オペラ入門講座や公演に関連したプレトーク、ワークショップを開催するなど広く舞台芸術の普及を図るための事業を行った。

区分	事業数	公演数	入場者数(人)
大ホール	12	13	14,364
中ホール	12	15	8,246
小ホール	10	12	2,350
その他	1	4	349
計	35	44	25,309
普及事業	44	102	18,703
共催等	12	34	23,012
計	91	180	67,024

イ 平成22年度以降自主事業準備

平成22年度以降の自主事業を円滑に実施するため調査交渉を進めるとともに、平成22年度に開催する自主事業公演の事前準備を行った。

ウ 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホールの創造活動の核として、「青少年オペラ劇場」シリーズ、「プロデュースオペラ」、「沼尻竜典オペラセレクション」のソリストや合唱を担うとともに、定期演奏会をはじめ、各種自主事業等に出演

した。また、県教育委員会等と連携し、小学校の体育館等でコンサートを行う小学校巡回公演を行うとともに、地域のホールとの協働公演を実施した。さらに、各地で依頼公演として各種のコンサートを行った。

エ ネットワークの形成

県公立文化施設協議会の会長館として、館長会議を開催したほか、びわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネージメント研修などを実施し、県内公立文化施設のネットワーク形成に努めた。

(2) 広報営業

ア 広報営業

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、公演チケット情報「Stage」や舞台芸術情報誌「湖響」の発行をはじめ、パブリシティ活動、インターネット・ホームページ等による公演情報の提供、新聞・雑誌・電波による広告など幅広い広報活動のほか、協賛支援の確保や貸館についての営業活動を行った。

イ チケット販売

組織販売に力を入れるなど、チケットの効果的な販売活動を行うとともに、インターネットによるチケット購入システムを通じて、顧客の拡大に努めた。

ウ 貸館利用促進

PR活動による新規顧客の開拓や既利用者の継続的利用など貸館の利用促進に努めた。

エ 友の会運営

顧客の拡大・定着を図りチケット販売等を促進するため、友の会一般会員、特別会員を募集し、定期的な情報の提供とチケットの優先販売を行った。また、友の会会員価格を設定するなど会員向けサービスの向上に努めた。

会員数（平成22年3月末現在）

一般会員 3,365人（クレジット会員2,288人、非クレジット会員1,077人）

特別会員 58社63口

オ 観客創造

(ア) 劇場サポーター

人のネットワークによる観客創造を目的に、第12期から第14期までの劇場サポーター93名の研修を行うとともに、サポーター活動の実践を通じ舞台芸術の普及に努めた。また、第15期サポーターの募集・選考を行った。

(イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高めるため、6歳以上18歳以下の青少年を対象にシアターメイツ会員を募集し、バックステージツアーや稽古見学会を実施した。

(ウ) 舞台芸術情報サロン

誰もが気軽に舞台芸術に関する情報に触れられるよう、舞台芸術情報サロンを運営し、各種サービスの提供を行った。

(3) 貸館事業

利用者の立場に立ったきめの細かい対応を徹底するため、コンサートマネージャーを活用し、リピーターの確保を含め貸館利用の促進に努めた。

区 分	貸館利用件数	入 場 者 数 (人)
大 ホ ー ル	75	102,505
中 ホ ー ル	52	30,235
小 ホ ー ル	105	17,471
計	232	150,211

(4) 管 理 運 営

指定管理者として、建物・設備の良好な維持管理にあたりとともに、効率的な管理を行い経費の節減を図った。

また、各ホールのほかりハーサル室、練習室、研修室、駐車場等が有効かつ安全に利用されるよう努めた。

なお、駐車場の平成21年度の総利用台数は、80,902台であった。